おおはる 議会だより

No.148

●発　行　大治町議会
〒490－1192
愛知県海部郡大治町大字馬島字大門西1番地の1
TEL 052（444）2711（代）　FAX 052（444）0086
●編　集　議会広報特別委員会
●発行日　平成27年11月11日

7月臨時会・9月定例会

西小体育館 天井はく落事故で議論

平成26年度決算 すべて認定

平成27年7月臨時会は、7月27日に行い、西小体育館の屋根を改修するための補正予算を可決しました。

9月定例会は、9月2日に開会し、23日間の会期で行いました。

マイナンバー法施行に伴う2条例の改正や、「平成26年度一般会計決算」など、15議案を可決、認定しました。

また、固定資産評価審査委員と教育委員の任命に同意し、3意見書を採択しました。

絆をつなぐ若き疾走　－大治中学校体育祭－

―7月臨時会―

▼西小体育館屋根改修設計委託料　200万円

―9月定例会―

主な条例改正

▼個人情報保護条例の一部改正
マイナンバー法施行に伴い、特定個人情報の取り扱いや開示方法などの整備を行うものです。　101万7千円

主な補正予算

▼個人番号カード交付事務費
マイナンバー法施行により、来年1月から個人番号カードを交付するための費用です。

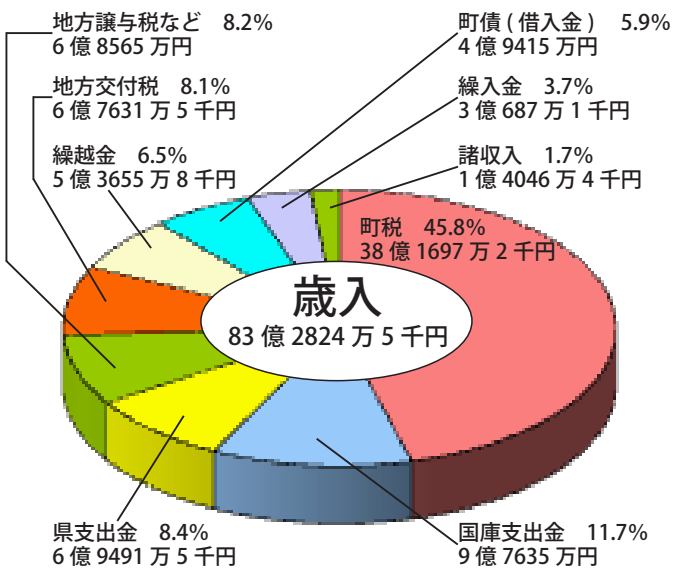
▼資源ごみ等搬出場所設置工事費
砂子地内に資源ごみステーションを新設します。　635万円

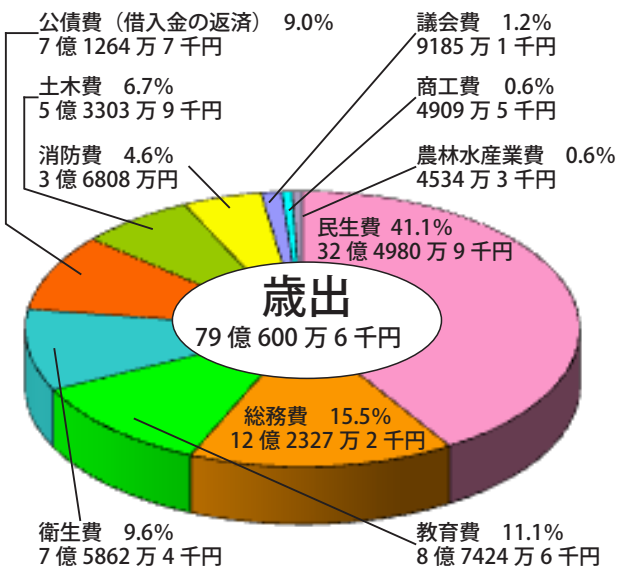
物品購入契約

▼小型動力ポンプ付積載車3台購入　1582万1130円
馬島・鎌須賀・長牧の消防車の購入です。

平成26年度　一般会計　決算の構成比

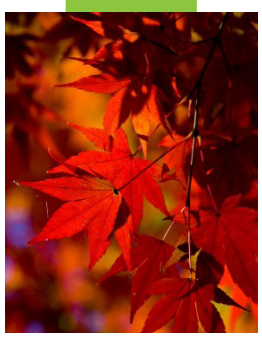
（千円未満　四捨五入）





平成26年度決算状況	会計		歳入	歳出
	一般会計		83億2824万4856円	79億　600万6486円
特別会計	国民健康保険		34億6166万5604円	31億　637万2873円
	土地取得		22万2233円	22万2233円
	介護保険	保険事業勘定	14億　298万3880円	13億4909万4968円
		介護サービス事業勘定	2013万5468円	1786万7455円
	公共下水道事業		4億2686万6789円	4億2541万6806円
	後期高齢者医療		4億5905万5347円	4億5891万1547円
	合計		140億9917万4177円	132億6389万2368円

本会議質疑＆委員会ダイジェスト



平成27年度 一般会計補正予算

対応は十分か

質問 個人番号のカードを発行するため、臨時に職員を採用するが、十分に対応できるのか。

また、個人情報を扱うが、臨時職員で大丈夫か。

答弁 平成28年1月から3月までの3カ月間で、4人を採用する予定である。

常時、2人で対応する態勢をとりたい。

採用時に、守秘義務の誓約書を取り、徹底する。

今後の方針は

質問 砂子地内に資源ごみのステーションを、設置する提案がある。

資源ごみステーションに対する町の方針は。

答弁 道路で回収している地区は、要望を聞きながら、順次ステーション方式に替えていく。

平成26年度 決算の認定

一般会計

通報はあったか

質問 1年生の児童にGPS機能付防犯ブザーを配布した。

通報などはあったか。

答弁 ブザーを使うと学校へ通報されることになっている。事件や事故につながる通報はなかった。

大丈夫か　天井

質問 スポーツセンターは避難場所にもなっているが、天井落下の危険性は。

答弁 スポーツセンターの天井は、つり天井である。

平成27・28年度で策定する総合管理計画に沿って、必要な経費を計画的に投入していきたい。

効果はあったか

質問 福祉巡回バスの事業効果は。

また、利用者のニーズをどう捉えているのか。

答弁 町の施設間を1日4往復し、町民に好評を得ている。

ニーズの把握は、運転手を通して行っている。

展望は

質問 保健推進員の活動の将来的な展望は。

答弁 平成32年には、推進員が50人となることを目標としている。

随時、推進員の募集をしながら、活動がマンネリ化しないようにしている。

保健推進員主催のウオーキングスタンプラリー

達成できたか　所期目的

質問 公民館の自動火災報知設備の改修工事は、予算に対し、28・5％の約170万円で行われた。

入札で随分安く済んだ結果だが、所期の目的は達成できたのか。

答弁 2社から参考見積もりを取り、予算の積算をした。

金額は競争入札の結果であり、目的は達成している。

連携の効果は

質問 あま市と連携して、ファミリー・サポート・センター事業を、新たに始めた。

結果として、あま市と比べて町内の利用者は、随分と少ないが、連携の効果はあったのか。

答弁 事業の中で、依頼会員の登録説明会や、提供会員の養成講座などを実施した。

会員の拡大のために、幼稚園や保育園、小学校などのほか、関係団体に出向いて募集を行った。

あま市との連携は、当初に計画した以上に、相互利用などで、成果が上がっている。

ファミリー・サポート・センター事業の説明会

予算硬直化の対策を

質問 高齢化が進むなど、義務的経費が増加し、財政が硬直化している。

道路整備などの投資的経費や、教育費などに影響が出るので、対策が必要ではないか。

答弁 経費は十分に精査し、国・県などの補助金の確保に努め、財政の健全化に努力する。

●整合性に欠ける

反対討論＝吉原経夫議員

西小の体育館は、システム天井なのに危険だとして撤去工事をし、はく落事故を起こした。

スポーツセンターは、危険と言われている、「つり天井」なのに改修工事の計画もなく、整合性に欠ける。

また、消費税8％への増税を前提とした予算であったことや、西尾張地方税滞納整理機構への支出が含まれているので、決算の認定に反対する。

●適正に運営

賛成討論＝横井良隆議員

西小体育館のはく落事故では、調査委員会で原因を追究し、しっかり対応している。

西尾張地方税滞納整理機構は、収納率の向上などに寄与し、評価できる。

全体的には、増加する扶助費にも対応し、適正な運営がなされており、決算の認定に賛成する。

公共下水道事業特別会計

どうなっている　接続率

質問 下水道は供用開始から5年たったが、接続率の現状は。

また、接続率を向上させるための対策は。

答弁 現状は、59・6％の接続率で、近隣市町と比較すると若干低い。

広報やホームページを利用して、接続率の向上に努める。

西小体育館 事故への対応

●事故発生

平成27年5月18日の夜、西小学校の体育館で町民がバレーボールを行っていた。その最中、天井から吹付材が落下した。

●事故調査委員会の設置

町は体育館の使用を禁止し、事故の原因を明らかにするため、調査委員会を設置した。

事故の重大性を考慮した町から、委員会への議員の参加要請があり、2議員を選出した。

委員会は、資材メーカーや設計・施工業者の聞き取りを行うなど、5回にわたって調査を行った。

そして、その調査結果を町長に答申した。

●その後

委員会からの答申内容は、それぞれの業者の不適切な点を指摘し、賠償の責任を明らかにした。

それを受け町は、3業者に損害の賠償を請求した。

●体育館は…

使用禁止だった体育館は、設計業者の責任で、吹付材がすべて撤去され、9月から使用できるようになった。

しかし、吹付材の撤去により、断熱効果が失われたため、屋根の改修工事が必要となった。

そのため、7月に臨時会を開き、体育館屋根改修の基本設計と実施設計の補正予算を可決した。

吉原経夫議員への辞職勧告決議を可決

定例会最終日の9月24日に議員辞職勧告決議案が提出されました。

決議案は「吉原経夫議員が、9月8日の本会議にアルコール臭を漂わせて出席していた。朝の登庁については、酒気帯び状態で車を運転してきたことを正されて、釈明もなかった。飲酒運転が社会問題になっている今、町民の範たる議員として失格と言わざるを得ない。議会の品位を傷つけるものだ。この際、非を認め、潔く議員を辞すべきだ」というものです。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

ずばり直言！ 一般質問

９月議会の一般質問は、９月７日に行い、４人の議員が町政をただしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

投票率向上の施策を

後藤田麻美子議員

選挙年齢を18歳以上とする改正公職選挙法が、成立・施行されることになった。

以前、中学校で模擬投票を実施したところ、大変好評であったと聞いている。

若者が政治に関心を持ち、投票率向上につながるよう選挙出前トークなど、誰もが中学生の時に体験ができる環境を整えてもらいたい。

関心を高めていく

選挙管理委員会書記　平成25年度に中学3年生を対象に、選挙出前トークを実施した。

今後は、選挙管理委員会として中学生に対して政治への関心を高めるとともに、選挙制度への理解を深めていきたい。

自転車運転の安全対策と道路環境の整備を

折橋盛男議員

本年6月1日より、危険な行為を繰り返す自転車運転者に、講習を義務づける改正道路交通法が施行された。

他の自治体では、条例の制定や保険の加入促進など、先進的に取り組んでいる。本町では、どう取り組むのか。

また、自転車が安全に通行するための道路整備を今後、どう取り組むのか。

安全整備に努める

町長　近年、自転車事故が増加している。独自の条例ではなく、既存の「交通安全条例」に自転車の安全な利用に関する条文を盛り込む。自転車保険への加入は、広報などで周知する。

道路の環境整備は、カラー塗装など計画的に進め、安全確保に努める。

天井板落下の危険性はあったのか

吉原経夫議員

西小学校体育館の天井板を撤去したが、果たして落下の危険はあったのか。危険があったと判断したのなら、どこで危険と判断したのか。

設計会社の調査・設計目的は、「天井等脱落防止対策」であり、落下の危険性については、調査をしていない。

脱落の危険性を確認せず、撤去工事を行ったのではないか。

調査結果により判断

教育長　西小学校体育館の天井は、重量のある天井材を使用していた。地震で落下した場合、大きな人的被害が考えられるとの調査結果を受け、撤去した。落下の危険性は、この調査結果に基づいて判断したものである。

他に４問ありました。

工事手段や品質管理についての考えを問う

林　健児議員

本町では、工事の設計から完了確認までの間で、専門的な知識のない職員が、契約や工事の打合せなどを行っている部署もある。

西小学校体育館の天井はく落事故を受けて、今後、このような事故の再発を防止し、工事の品質を確保するために、どう取り組むのか。

指導・助言ができる体制をつくる

町長　工事に関わる事務処理を担当部署で行い、設計や施工監理は、業務委託による民間業者が行っている。

今後は、専門的な知識を持った職員に、他部署の案件についても協議の場に参加してもらい、指導・助言ができる体制づくりをしていく。

	議　　案	賛成	反対	議決結果
7月 臨時会	平成２７年度　一般会計補正予算（第２号）	１１	0	可決
9月定例会	個人情報保護条例の一部改正	１０	1	可決
	使用料及び手数料条例の一部改正	１０	1	可決
	平成２７年度　一般会計補正予算（第３号）	１０	1	可決
	平成２７年度　国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	１１	0	可決
	平成２７年度　介護保険特別会計補正予算（第２号）	１１	0	可決
	平成２７年度　後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	１１	0	可決
	平成２６年度　一般会計決算	１０	1	認定
	平成２６年度　国民健康保険特別会計決算	１１	0	認定
	平成２６年度　土地取得特別会計決算	１１	0	認定
	平成２６年度　介護保険特別会計決算	１１	0	認定
	平成２６年度　公共下水道事業特別会計決算	１０	1	認定
	平成２６年度　後期高齢者医療特別会計決算	１０	1	認定
	町道路線の認定	１１	0	可決
	物品購入契約（小型動力ポンプ付積載車）	１１	0	可決
	固定資産評価審査委員の選任（野間祐司氏）	１１	0	同意
	教育委員の任命（大竹正吾氏）	１１	0	同意
	議会会議規則の一部改正	１１	0	可決
	安全保障関連法案の衆議院通過に抗議し、廃案を求める意見書	2	9	否決
	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	１１	0	可決
	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	１１	0	可決
	県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	9	2	可決
	吉原経夫議員の辞職勧告に関する決議	6	4	可決

人事案件

教育委員（再任）

大竹　正吾氏

任期は、平成27年10月1日から4年間です。

固定資産評価審査委員（再任）

野間　祐司氏

任期は、平成27年12月27日から3年間です。

意見書

下記の意見書を可決し、国の関係機関や県に提出しましたので、要旨をお知らせします。

■義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は３分の１に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが、憲法上の要請である。

義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率２分の１への復元にむけて、十分な教育予算を確保することを求める。

■国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

国の責務と私学の重要性にかんがみ、父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を一層拡充すること。

また、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、経常費補助の一層の拡充を図ることを求める。

■県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

父母負担の公私格差の是正のため、負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充すること。

また、経常費助成も学費と教育条件の「公私格差」を着実に是正できる施策を実施することを求める。

町制40周年 記念事業

40年の歩みを祝う
町制施行40周年記念式典

10月21日、スポーツセンターで、町の発展を祝う町制40周年記念式典が挙行されました。

当日は、議員も約500人の町民の方々とともに式典に参加し、町の節目を祝いました。

式典では、永年にわたり町政発展に寄与された、個人や団体が表彰されました。

また、大治太鼓保存会の演奏や、陸上自衛隊音楽隊によるコンサートが行われ、会場内には、40年の歩みの写真パネルも展示されました。

花と緑の夢あいち2015

10月16日から21日まで、スポーツセンターは愛・地球博記念公園（長久手市）で開催中の「全国都市緑化あいちフェア」のサテライト会場となりました。

15日には、大治小学校の6年生がサルビアなどを、いきいき花クラブの方々とともに、プランターに植栽しました。

サルビアの花言葉である「燃える思い」を込め、町制40周年を表す「40 th」の文字を鮮やかに描きました。

委員会 活動報告

「伝える」から「伝わる」へ
―広報研修―

8月21日、第28回町村議会広報研修会が開催され、県内の議会広報に携わる約160人とともに、広報委員全員が参加しました。

住民に議会活動が伝わらなければ、どんな活動をしても評価はないに等しい。「伝える」広報から「伝わる」広報へ移行させるために、しっかり企画編集を行うべき、との指摘がありました。

後半は、3市4町の「議会だより」を教材に、配色や文字の大きさ、写真の使い方などを具体的に検証しました。

今回の研修を糧に、よりよい広報紙づくりに、委員一丸となって取り組んでまいります。

認知症サポーター養成講座

福祉建設常任委員会では、10月2日に全委員が「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

まちかど インタビュー

No.41

海部津島スポーツ少年団軟式野球連盟の長い歴史の中、大治町で初めて会長に就任された黒田道毅（みちたけ）さん（西條・56歳）に、お話を伺ってきました。

――会長に推薦されたときのお気持ちは

海部津島スポーツ少年団軟式野球連盟は、設立から38年たっています。

歴史と伝統があり、責任重大で、身が引き締まる思いでした。

皆さんから推薦を受けた以上、責任を持ってやろうと決断しました。

――スポーツ少年団に関わったきっかけはなんだったのですか

子どもが、少年団に入団したのがきっかけで、当初は、お手伝いのつもりで参加しました。

監督を2年務め、その後13年間、連盟の大治町理事を経て、今年会長に就任しました。

――活動の内容は

県大会につながる3つの大会と連盟主催の大会の運営と、審判員の育成が主な仕事です。

海部津島地区は、小学校も多く大所帯であるため、いろいろな意見を聞いて、一つの方向性を示すのが、会長としての私の役割と認識しています。

――課題と今後の取り組みは

海部津島地区はマンモスブロックで、県内でも1、2を争うチーム加盟数がありました。

しかし、最近では、少子化の影響もあってか、チーム数が減少しています。

新団員の加入などに力を入れ、減少傾向を抑制したいと考えています。

また、全国的に女性チームが結成されていますので、女性も入団しやすいチーム作りに向けて、役員も女性を積極的に登用し、女性の視点からも活性化を図りたいと考えています。

――最後に、一言どうぞ

子ども達には、自分の好きなことに何でもチャレンジしてほしいと思います。

子どもは、大きな可能性を秘めています。それを引き出してあげる環境をつくるのが、大人の責務です。

指導者には、野球の技術だけでなく、言動や礼節を持って子どもと向き合ってほしいと思います。

本日はありがとうございました。

子どもの育成を熱く語る黒田さん。

これからのご活躍を心よりお祈りいたします。

少年の健闘をたたえる

暫時休憩

▼中秋の
月を見上げて
願う事―

▼鏡のような満月に、いろいろな思いを映しみる。

▼今年は、戦後70年の節目の年。

▼歴史を学ぶ事は、今を知る事である。

▼過去を知り、今に活かす。
現在は過去を知る鍵。
過去は未来を解く鍵。

▼歴史を通じて、改善と改革を推し進めていきたい。

12月定例会 日程（案）

1日（火）	開会 上程・提案説明
7日（月）	一般質問
8日（火）	質疑等
10日（木）	総務教育 常任委員会
11日（金）	福祉建設 常任委員会
18日（金）	採決 閉会

※開会は午前10時です。

日程は、変更となる場合があります。

定例会日程は、町のホームページでも確認していただけます。